

Costume Jewelry

Pioneers of Style

Chanel, Dior and Schiaparelli
From the Chisako Kotaki Collection

2025.4.19(土) - 6.22(日)

コスチューム
ジュエリー
美の革新者たち
シャネル、ディオール、スキヤパレリ
小瀧千佐子コレクションより

開館時間

9:45 - 17:00 (6月は17:30閉館)
※入場は閉館の30分前まで

休館日

4月21日(月)、4月28日(月)

主催: 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、札幌テレビ放送、北海道新聞社
監修: 小瀧千佐子
特別協力: ウィリアム・ウェイン(コスチュームジュエリー研究者/イギリス、ロンドン)
学術協力: ディアンナ・ファルネッティ・チェーラ(コスチュームジュエリー研究者/イタリア、ミラノ)
協力: chisa、株式会社世界文化社
企画協力: 株式会社キュレイトーズ
後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、札幌市、札幌市教育委員会

札幌芸術の森美術館
Sapporo Art Museum

札幌市南区芸術の森2丁目75番地 TEL.011-591-0090

展覧会公式ホームページ

<https://stv.jp/event/costume-jewelry/>

掲載写真は出品作品より 小瀧千佐子蔵/個人蔵



切り拓け、自由の世界。



宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂など多様な素材で制作される装身具・コスチュームジュエリー。宝飾品の既成概念から解放され、20世紀初頭のポール・ポワレを先駆けに、以降シャネルやディオール、スキャパレリなど、フランスのオートクチュールのデザイナーたちがこぞ取り入れました。そして、自由な発想と多様な素材で、個性豊かな作品が次々と誕生します。

コスチュームジュエリーは、ヨーロッパを起点に戦後アメリカへも広く普及します。女性の社会進出が進む当時の世相と相まって、彼女たちの自立と個性を表現するアイテムとして絶大な支持を得ました。働く女性が自分のために装身具を選ぶ時代が訪れたのです。

本展では、コスチュームジュエリーの世界的なコレクターである小瀧千佐子氏のコレクションから約450点の作品を展覧し、コスチュームジュエリーの歴史的展開とその魅力を紹介します。モードの激動の時代を生き抜いたアーティストたちが創造した、自由で独創的な様式美の世界をご堪能ください。



【即売会専用】

1. シス(シシィ・ゾルトフスカ)《ネックレス》デザイン:ダミアン・シュラー、制作:メゾン・シス、1960年頃、カボションガラス、クリスタルガラス、黒染加工メタルネット 2. トリファリ《ペアクリップ「テノールフィッシュとマーメイド」》デザイン:ジョセフ・ウィッツ、制作:トリファリ、クラスマン&フィッセル社、1940年、エナメル彩メタル、ラインストーン、ガラスペースト 3. メゾン・グリボワ《イヤリング》デザイン:ジョゼット・グリボワ、1989年、パート・ド・ヴェール・エナメル ガラス、カボションガラス、模造パール、メタル、個人蔵 4. クリスチャン・ディオール《ブローチ「えんどう豆」モチーフ》デザイン:ジュザヌ・グリボワ、制作:メゾン・グリボワ、1955年頃、パート・ド・ヴェール・エナメル ガラス、模造パール、メタル 5. スキャパレリ《クリップ「ハート」モチーフ》デザイン:ジャン・シュルンベルジェール、1938年頃、エナメル彩メタル、ラインストーン 6. ポール・ポワレ《夜会用マスク、ブレスレット「深海」》制作:マドレーヌ・パニゾン、1919年、メタリックチュールにガラスビーズとクリスタルガラスで刺繍 (Florence Müller, Costume Jewelry for Haute Couture, Patrick Sigal ed., London, Thames & Hudson, 2006) [参考出品] シャネル《スーツ》デザイン:ATT、ガブリエル・シャネル、1960年代、ウール・ツイード、絹、杉野学園衣裳博物館 (所蔵表記のないものは小瀧千佐子蔵 2,3写真協力:株式会社世界文化社 撮影:鈴木一彦)

要事前購入

特別講演会 「コスチュームジュエリー 美の変革者たち」

開幕に先立ち、本展監修者の小瀧千佐子氏による講演会を開催します。聴講後は17時まで展覧会を自由に観覧いただけます。

日時/4月18日(金) 14:00~(約90分/13:30受付開始)
講師/小瀧千佐子氏(本展監修者、コスチュームジュエリー研究家)
会場/札幌芸術の森美術館
定員/40名
参加費/2,000円
購入方法/展覧会公式ホームページより参加チケットを事前購入。
3月1日(土)午前10時より販売開始。定員に達し次第販売終了。

※未就学児はチケット不要。小学生以上の方は1名1枚チケットが必要です。※講演会の参加チケットのほかに入館料等は必要ありません。※撮影・取材等が入る場合があります。

クラフトワークショップ

要申込

札幌芸術の森専門員による関連ワークショップを開催します。詳細は展覧会公式ホームページへ。 ※画像はイメージです。



七宝焼きのペアリング



真鍮のアクセサリ

要事前購入

小瀧千佐子氏による ワークショップ ヴェネチアン ビーズのネックレス



日時/4月20日(日) ① 11:00~13:00 ② 14:00~16:00
講師/小瀧千佐子氏(本展監修者、コスチュームジュエリー研究家)
会場/札幌芸術の森 陶工房 ワークショップルーム
定員/各回15名 ※小学生以下は保護者同伴
参加費/8,000円(材料費込み、本展観覧券付)
購入方法/展覧会公式ホームページより参加チケットを事前購入。
3月1日(土)午前10時より販売開始。定員に達し次第販売終了。

ドレスアップウィーク 2025.5.19(月)~25(日)

期間中、お気に入りのブローチを着けてご来館された方は、ご本人様にかぎり展覧会を割引料金で観覧いただけます。
割引後料金:一般 1,500円、高校・大学生 900円、小・中学生 450円
※美術館券売所で当日券ご購入の方が対象。※他の割引との併用はできません。

観覧料

一般1,600(1,400)円、高校・大学生1,000(800)円、小・中学生500(300)円

* ()内は前売りまたは20名以上の団体料金 * 小学生未満無料 * 65歳以上の方は当日料金が1,400(団体1,200)円になります。年齢の分かるものをご提示ください。 * 障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添いの方1名が無料になります。

前売券販売所

展覧会公式オンラインチケット、札幌芸術の森美術館、道新プレイガイド、札幌市民交流プラザチケットセンター、セイコーマート(セコマコード:D25041906/4月12日まで販売)、ローソンチケット(Lコード:11339)、チケットぴあ(Pコード:995-300)、大丸藤井セントラル(3階アートのフロア)



展覧会公式ホームページ

<https://stv.jp/event/costume-jewelry/>

Facebook @sapporoartmuseum
Twitter @mshop_managers
Instagram @stv_event

● 地下鉄・バスをご利用の場合

地下鉄南北線「真駒内」駅のバス2番のりばから中央バス乗車、「芸術の森入口」下車(所要時間約15分、約15分間隔で運行)。*2番のりば発のバスはすべて「芸術の森入口」に停まります。

● お車をご利用の場合

札幌市中心部から国道453号線を支笏湖方面に南下(約30分)。*駐車場(561台収容)は1車両1回につき普通車500円、大型車1,200円。

札幌芸術の森美術館 Sapporo Art Museum

札幌市南区芸術の森2丁目75番地 TEL:011-591-0090
<https://artpark.or.jp/>

